

令和6年度 第2回 中瀬小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年9月13日（金）13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 中瀬小学校 会議室
- 3 出席委員 山本 忠雄、村上 雅代、舟橋 弘子、鈴木 英之、
田中 弥生、岩崎 永二、河合 佳洋
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 細川 恭由（中瀬協働センター）
- 6 学 校 松本 昌之（校長）、櫻井 伸夫（教頭）、佐々木 麻美（CS担当教職員）、
富永 幸代（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項

- (1) 議長の選出について
- (2) 1学期の学校運営について
- (3) 1学期の支援活動について
- (4) 今後の支援計画について
- (5) 学校評価アンケート項目について

9 会議録作成者 CSディレクター 富永 幸代

10 会議記録

司会の佐々木主幹（CS担当職員）から、委員全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、山本委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 1学期の学校運営について

議長の指示により、佐々木主幹から別紙資料に基づき1学期の学校運営について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・不登校児童が全国的に増加傾向にあり、校外の学びの教室などがあるが、中瀬小学校では校内にも適用教室などはあるのか。（岩崎委員）

（佐々木主幹）→本校では、不登校児童への対応として、校外の学びの教室の利用や、保健室・発達支援教室の利用といった形での配慮をしている。保護者・担任・その他の職員が連絡を取り合いながら児童の様子を見守っている。

・学習状況調査の中で、「ICT機器の家庭学習への活用」とあるが、どの程度が活用できているということなのか。どうなることが活用するということなのかを、子供たち自身が理解し、評価の観点をもっていれば、調査結果が良くなるのではないかと思う。（英之委員）

・タブレットを利用する機会が増えた一方、字を書く機会が減り、字が下手になってきていると感じる。読める字を書くということを指導する必要があると思う。（村上委員）

(3) 1学期の支援活動について

議長の指示により、学校支援コーディネーターの田中委員から1学期の支援活動について以下の報告があった。

- ・ボランティア募集の際に、当日の活動の流れや支援内容の詳細をお知らせしてほしいとの声があった。具体的にどのような支援や見守りをすればよいのかを事前にお知らせすると、活動内容がよく伝わるので参加者が増えると思う。
- ・2年生の校外学習支援では、交通ルールを守れていない児童が見受けられた。また、雨の日の登下校時、危険な傘の使い方をしている児童が見受けられるので、さらなる指導が必要だと思う。
- ・クラブ活動については学年の幅があるので、上級生と下級生では理解度の違いがあると感じた。今後の支援の課題だと思った。

委員からは以下の発言があった。

- ・登校時、班のリーダーは一生懸命班員を連れて歩いている。見守りをする中で気になる点は、道中何か起こった時、リーダーがどのようにその場を判断すればよいのかということを心配している。もっと多くの方に登校時の見守りをお願いできればと思う。(村上委員)。

(4) 今後の支援計画について

議長の指示により、佐々木主幹から別紙資料に基づき、今後の支援計画について説明があった。

(5) 学校評価アンケート項目について

議長の指示により、佐々木主幹から学校評価アンケート(案)について説明があった。

(佐々木主幹)→昨年度のアンケート結果を土台とし、今年度の学校基本方針と照らし合わせたアンケート(案)を作成した。本校では、ねばり強く何かに取り組むといったことを苦手とする児童が多いことが反省課題であったので、夢(目標)に向かってねばり強く頑張れる子を育てるということに力を入れて活動を進めている。

☆その他の連絡事項☆

佐々木主幹から、次回の会議は以下の日程で開催する旨の報告があった。

- ・第3回：令和6年12月12日(木) 13:30～15:30 ※AM学習発表会
- ・第4回：令和7年 2月13日(木) 13:00～15:00